

事例研究3)		
好きな動物		
3年～4年	個人	3時間

◇活動内容

おる・ねばす

◇学習の条件

- 割りばしでいろいろな動物の形をつくろう。
- 毛糸を巻いたり、色をつけたりして一層楽しくしよう。

◇学習の過程

- 1 割りばしで動物や人をつくるにはどうしたらよいか話し合う。
 - ・ どうしたらつくれるかなど。
- 2 割りばしをおる。
 - ・ 短かくおるときは、ペンチではさんでおいておる。
- 3 おった割りばし2本を平行につける。
- 4 おった割りばし2本を直角につける。
 - ・ どうしたらつけやすいか工夫する。
- 5 自分の好きな動物をつくる。
 - ・ 接着剤が乾くまでは、輪ゴムや洗濯ばさみで留めるなどの工夫をする。
- 6 飾る。
 - ・ できた形の1つに毛糸を巻いたり、色を塗ったりして一層楽しいものにする。
- 7 鑑賞する。

◇留意点

割りばしをおるのが困難な場合は、ペンチではさんでおいておるなどの工夫をさせる。また、直角にねばすことについてはよくできるようよく練習をさせたい。

◇題材設定理由

◦ 廃材でも工夫しだいで、新しい美しい形に生まれかわることを体験させ、物の価値に気づかせることができる。

◇材料・用具

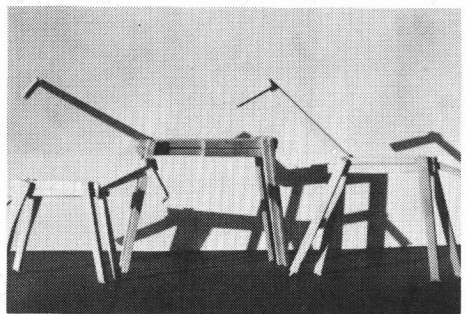
割りばし(1人10本)・毛糸・輪ゴム
ポスターカラー・洗濯ばさみ・接着剤

◇学習のねらい

- (心情) ・ 割りばしから豊かに発想し、新しい形が生まれることの喜びを味わうことができる。
- (造形) ・ おった割りばしの組み合わせを通し、安定感があり、バランスよく組み合わせることができる。
- (技能) ・ 材料の生かし方や組み立てるような技術を身につけたり、毛糸をまいたり、着色したり、工夫することができる。

◇作例 きりん, うま, いぬ

17-1 ー割りばしのままでも美しいー



17-2 ー毛糸を巻いたり、色をつけたりして一層楽しかったー

